

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	市道通学路整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-⑦	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	道路河川課			款	8	新規or継続	継続事業
	係	道路建設係			項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	512	名称	根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		事業開始年度	H30	実施方法	一部委託
	政策	1	安全で安心して暮らせるまちづくり		事業終了年度	R7	事業分類	施設等整備事業
	施策	2	交通安全・防犯・消費者対策の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市通学路安全対策プログラムにおいて、各小中学校より危険箇所として要望された市道通学路について、道路改良を必要とする通学路を緊急的に整備を進めていく。
------	------------------------------------------------------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市道通学中の児童生徒（市内の小中学生）の安全確保	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		整備箇所数	件	2	5	1	2	1

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	主に下記の業務委託を実施した。 ・市道1級3号線道路改良工事に伴う予備設計業務委託 ・市道1級5号線通学路整備工事に伴う用地測量業務委託 ・市道3068号線通学路整備工事に伴う測量及び詳細設計業務委託 ・市道1級5号線通学路整備工事に伴う物件算定業務委託	活動指標	単位	R3	R4	R5
		工事箇所	件	2	5	0
		用地買収	m	0	0	0
		物件補償	件	0	0	0
		事業費計	千円	20,041	56,313	13,369
		一般財源	千円	20,041	36,313	0
		特定財源（国・県・他）	千円	0	20,000	13,369
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	次年度以降の通学路整備工事実施に向け進捗が図れた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		整備箇所数	件	2	5	0	値が大きいほど良い	効果が下がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数 0指標				○
	効果が下がった指標数 1指標				
	指標全体	効果が下がった			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

各小中学校より危険箇所として要望された対策について、市議会においても早期対策が望まれている。要望件数が多いため事業開始までに多くの年数を要している。また整備には基本的に用地買収等を伴い計画を立ててから竣工に至るまで長期間を要する。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月31日

事業名	交通安全施設等維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	道路河川課			款	8	新規or継続	継続事業	
	係	道路維持係			項	2	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	512	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	5			快速により安全で安心して暮らせるまちづくり	開始年度	H17	実施方法	一部委託
	政策	1			安全で安心して暮らせるまちづくり	終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2			交通安全・防犯・消費者対策の推進				

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	交通安全施設（防護柵、道路反射鏡、街路灯）等の維持・修繕を行う。
------	----------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	交通安全施設（防護柵、道路反射鏡、街路灯）等の維持・修繕を行い、道路環境を良好にすることにより、交通事故防止を図る。
-------------------------	------------------------------------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
交通事故発生件数(暦年)	件	380	230	220	210	200
市道(通学路)の危険箇所改善率	%		60	62	64	66
幹線市道の歩道整備率	%		26.8	26.9	26.9	27.1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	道路パトロール等で発見した危険箇所と利用者からの苦情ならびに修繕依頼を受けた危険箇所等の維持・修繕 防護柵の修繕 道路反射鏡の修繕 街路灯の修繕
--------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
維持・修繕を実施した箇所数	箇所	197	137	137
カーブミラー管理数	基	3,505	3,516	3,522
街路灯管理数	基		666	669
事業費計	千円	2,602	2,484	11,841
一般財源	千円	2,602	2,484	11,841
特定財源(国・県・他)	千円			
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市道における交通事故を未然に防ぐ環境を整備することを目的としており、利用者からの修繕依頼については、おおむね対応できており、通学路における危険箇所改善率については、効果を上げることができた。
------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
交通事故発生件数(暦年)	件	278	249	264	値が小さいほど良い	効果が下がった
市道(通学路)の危険箇所改善率	%		75.6	75.8	値が大きいほど良い	効果が上がった
幹線市道の歩道整備率	%		26.8	26.8	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	1指標				
	効果が下がった指標数	1指標				
	指標全体	効果は変わらない	費用	費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

利用者からの苦情ならびに修繕依頼を受けた箇所等の維持修繕は、未処理があるため達成できなかった。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	道路パトロール等で発見した危険箇所と利用者からの苦情ならびに修繕依頼を受けた危険箇所等の維持修繕を速やかに実施する。
------	------------------------------------------------------------

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月31日

事業名	交通安全施設等整備事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	道路河川課			款	8	新規or継続	継続事業	
	係	道路維持係			項	2	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	512	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	道路法、道路交通法、交通安全対策基本法、交通安全対策特別交付金に関する政令	事業期間	開始年度	H17	実施方法	一部委託
	政策	1	安全で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業	
	施策	2	交通安全・防犯・消費者対策の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	交通安全施設（区画線、防護柵、道路反射鏡、街路灯、歩道）等の整備を行う。 (交通反則金収入を原資とした交通安全対策特別交付金制度による緊急に設置が必要な交通安全施設等の整備をする。)
------	------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	交通安全施設（区画線、防護柵、道路反射鏡、街路灯）等の整備を行い、道路環境を良好にすることにより、交通事故防止を図る。
-------------------------	-------------------------------------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
交通事故発生件数(暦年)	件	380	230	220	210	200
市道(通学路)の危険箇所改善率	%		60	62	64	66
幹線市道の歩道整備率	%		26.8	26.9	26.9	27.1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	道路パトロール等で発見した危険箇所と利用者からの苦情ならびに設置要望を受けた危険箇所等の整備。 区画線、道路反射鏡の設置。
--------------------------	------------------------------------------------------------------

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
道路反射鏡の増減数	基	9	11	6
街路灯の増減数	基	0	4	3
防護柵の増減延長	m	0	0	0
事業費計	千円	15,554	15,809	19,503
一般財源	千円	15,554	15,809	19,503
特定財源(国・県・他)	千円			
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市道における交通事故を未然に防ぐ環境を整備することを目的としており、利用者からの修繕依頼については、おおむね対応できており、通学路における危険箇所改善率については、効果を上げることができた。
------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
交通事故発生件数(暦年)	件	278	249	264	値が小さいほど良い	効果が下がった
市道(通学路)の危険箇所改善率	%		75.6	75.8	値が大きいほど良い	効果が上がった
幹線市道の歩道整備率	%		26.8	26.8	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 1指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した		○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

利用者からの苦情ならびに設置要望を受けた箇所等の整備を概ね実施したことにより達成できた。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
道路パトロール等で発見した危険箇所と利用者からの設置要望を受けた危険箇所等の整備を実施する。

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月31日

事業名	道路LED照明整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	道路河川課			款	8	新規or継続	継続事業	
	係	道路維持係			項	2	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	512	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	道路法	事業期間	開始年度	R4	実施方法	一部委託
	政策	1	安全で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	R5	事業分類	施設等整備事業	
	施策	2	交通安全・防犯・消費者対策の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	既設の道路照明灯を長寿命で省エネルギー効果の高いLED灯に更新する。
------	------------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市道における交通事故を未然に防ぐ環境を整備する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		交通事故発生件数(暦年)	件	380	230	220	210	200

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	道路照明灯のLED化を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		道路照明灯LED化率	%			100
		事業費計	千円	0	0	65,375
		一般財源	千円			
		特定財源(国・県・他)	千円			65,375
		(うち受益者負担)	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市道における交通事故を未然に防ぐ環境を整備することを目的としており、道路照明設置数669基すべてLED灯へ交換することができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		交通事故発生件数(暦年)	件	278	249	264	値が小さいほど良い	効果が下がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)		※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	1指標			
	指標全体	効果が下がった			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

問題なくLED化をすることができた。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 既設道路照明灯のLED化が完了したことにより、本事業は終了となる。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月9日

事業名	佐野駅前自転車駐車場指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	市民生活課			款	2	新規or継続	継続事業	
	係	生活安全係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	512	名称	根拠法令、条例等	目	11	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	佐野市自転車駐車場条例	事業期間	開始年度	H10	実施方法	指定管理者
	政策	1	安全で安心して暮らせるまちづくり	佐野市自転車放置防止条例	終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	2	交通安全・防犯・消費者対策の推進	例					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野駅前自転車駐車場の維持管理及び佐野駅前の自転車放置禁止区域等の巡回監視と放置自転車の撤去を指定管理者に委託している。放置自転車の告示及び処分を行う。
------	------------------------------------------------------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	放置自転車が減少し、都市の良好な交通環境と市民の安全な生活環境の確保を図る。
-------------------------	----------------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
放置自転車台数	台	70	70	70	65	65

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 佐野駅前自転車駐車場の維持管理を指定管理者に委託 佐野駅前の自転車放置禁止区域等の巡回監視及び放置自転車の撤去を指定管理者に委託 放置自転車の告示と処分を実施
--------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
駅前自転車駐車場稼働日数	日	362	362	363
放置自転車巡回監視日数	日	244	243	243
事業費計	千円	11,664	11,796	11,833
一般財源	千円	0	0	0
特定財源（国・県・他）	千円	11,664	11,796	11,833
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野駅前自転車駐車場の利用台数はコロナ禍により減っていたが、回復してきた。放置自転車の台数は減少した。
------------------	-----------------------------------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
放置自転車台数	台	28	49	44	値が小さいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			
	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

佐野駅前周辺的美観や歩行環境を悪化させる放置自転車が増加したため、早急な放置自転車の対策及び鉄道利用者の利便性を図るため平成10年度から事業を開始した。佐野駅自由通路の開通に伴い駅北口に放置自転車が増加したため平成24年7月1日から佐野駅北口付近を放置自転車禁止区域に指定した。佐野駅前の自転車放置禁止区域等の巡回管理を継続してきたことで、放置自転車は減少している。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	令和6年度の委託から佐野駅前の自転車放置禁止区域の巡回監視業務委託の監視日数を減らすことで、事業費を削減する。
------	---------------------------------------------------------

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	市道1級2号線道路改良事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-⑦	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	道路河川課			款	8	新規or継続	継続事業
	係	道路建設係			項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	512	名称	根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	道路法、道路構造令	事業開始年度	H31	実施方法	一部委託
	政策	1	安全で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	R10	事業分類	施設等整備事業
	施策	2	交通安全・防犯・消費者対策の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	通学時間帯では、多くの中高生が往来する道路であるが、踏切部分が狭く歩道が無い状況で、歩行者の安全が確保できていないことから、踏切部分の拡幅及び踏切への取付道路の整備を行うもの。 (全体事業 工事延長L=170m、道路幅員W=12.0m、歩行者道W=2.5m(片側)、自転車通行帯W=1.5m(両側))
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・歩行者、自転車利用者の安全確保を図る	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		整備率(整備済延長/計画区間延長)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・用地交渉（事業説明及び協力依頼）	活動指標	単位	R3	R4	R5
		工事延長	m	0	0	0
		用地買収	m ²	0	0	0
		物件補償	件	0	0	0
		事業費計	千円	8,030	0	0
		一般財源	千円	4,405	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円	3,625	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0		

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	-	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		整備率(整備済延長/計画区間延長)	%	0.0	0.0	0.0	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		○	
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果は変わらない			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・用地交渉を継続して実施し、工事の早期着工に努める。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------